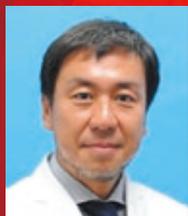


新しい前眼部OCT アンテリオンのポテンシャル

— 臨床現場での様々な使用経験

WEB開催 日時 2020年11月5日(木)～25日(水)

座長



臼井 智彦 先生

国際医療福祉大学
医学部眼科 主任教授

ハイデルベルグエンジニアリング社より新しい前眼部OCT「アンテリオン」が発売されました。

Swept source-OCTの技術を採用した「アンテリオン」は、ハイデルベルグ独自のアイトラッキング機能を搭載し、非常に高解像度でかつ再現性の高い画像を取得可能です。また光学式眼軸長計測およびIOL度数計算、角膜形状解析が可能なオールインワン装置であることも大きな特長です。

この「アンテリオン」が提供する高解像度なOCT画像により、前眼部画像解析のさらなる向上が期待できますが、実際の臨床の

現場でどのように活用されているか気になるところです。そこで本セミナーでは三人の先生に「アンテリオン」の使用経験についてご講演をお願いしました。

まず角膜疾患について東邦大学医療センター大森病院の岡島行伸先生に、次にIOL度数計算を含めた白内障について総合青山病院の市川慶先生に、最後に日常診療の中での様々な活用法について、はねもと眼科の埴本幸先生にお話しをいただきます。

「アンテリオン」の持つポテンシャル、臨床評価などをお聞きできるものと思います。どうぞご期待ください。

演者



岡島 行伸 先生

東邦大学医療センター大森病院

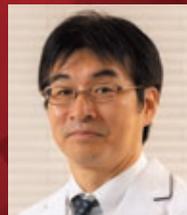
角膜疾患における
アンテリオン使用経験



市川 慶 先生

総合青山病院／中京眼科

白内障眼に対する
アンテリオンの使用経験



埴本 幸 先生

はねもと眼科

アンテリオン
日常診療の中での活用法

視聴者からのご質問を弊社ホームページでお受けします。

演者からの回答を後日弊社からメールでご連絡します。

<http://www.jfcsp.co.jp/inquiry/>